



2018年2月期 第3四半期決算補足資料



株式会社イオンファンタジー

目次

1. 会社概要
2. 2018年2月期第3四半期連結累計期間
決算概要
3. 2018年2月期第3四半期連結累計期間
重点取組み概要
4. 2018年2月期 連結業績予想

【参考資料】
単体資料



株式会社イオンファンタジー

会社概要



株式会社イオンファンタジー

2

会社概要

.....

- 1) 商号 株式会社イオンファンタジー
- 2) 所在地 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
- 3) 設立 1997年2月14日
- 4) 資本金 17億47百万円
- 5) 株主 イオン株式会社 65.5%、その他 34.5%
- 6) 市場 東京証券取引所 市場第一部
- 7) 事業 ショッピングセンター内「アミューズメント施設」
及び「インドアプレイグラウンド」の運営



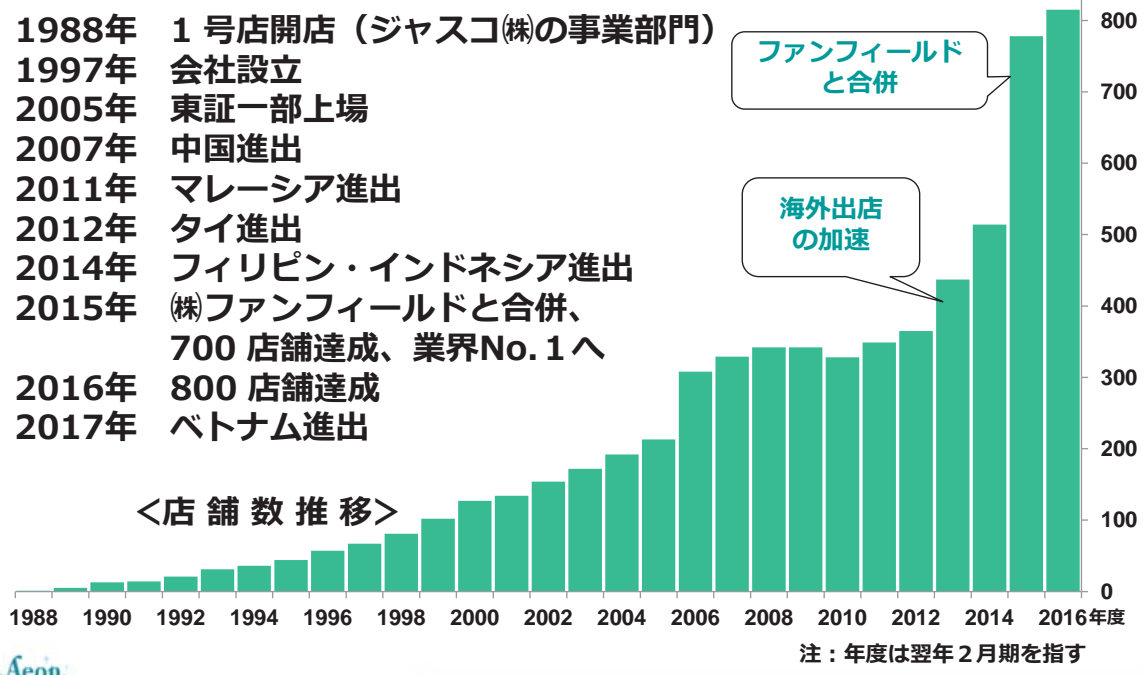
株式会社イオンファンタジー

3

沿革



- 1988年 1号店開店（ジャスコ(株)の事業部門）
- 1997年 会社設立
- 2005年 東証一部上場
- 2007年 中国進出
- 2011年 マレーシア進出
- 2012年 タイ進出
- 2014年 フィリピン・インドネシア進出
- 2015年 (株)ファンフィールドと合併、
700店舗達成、業界No. 1へ
- 2016年 800店舗達成
- 2017年 ベトナム進出



アミューズメント施設運営企業 業界No.1

順位	企業名	売上実績 (2016年度)
1位	イオンファンタジー	650億円
2位	A社	472億円
3位	B社	405億円
4位	C社	372億円
5位	D社	141億円
6位	E社	133億円

※各社の売上高は海外を含めた連結ベースのアミューズメント施設売上額

2018年2月期第3四半期

連結累計期間

決算概要



株式会社イオンファンタジー

6

2018年2月期第3四半期連結累計期間の業績

- 売上高は**過去最高**。前年同期比**11.4%**の増収。
- 営業利益、経常利益は2007年2月期以来**11年ぶりの過去最高**。
- 四半期純利益も大幅増益。

2018年2月期第3四半期累計期間（2017年3月1日～2017年11月30日）（単位：百万円）

	2017/2期 第3四半期 累計期間	2018/2期 第3四半期 累計期間	前期比 増減率
売上高	47,312	52,706	+11.4%
売上総利益	5,020	7,158	+42.6%
営業利益	1,933	3,544	+83.4%
経常利益	1,751	3,218	+83.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	662	1,365	+106.0%
1株当たり四半期純利益	33.65円	69.29円	35.64円増



株式会社イオンファンタジー

7

セグメント情報

(単位：百万円)

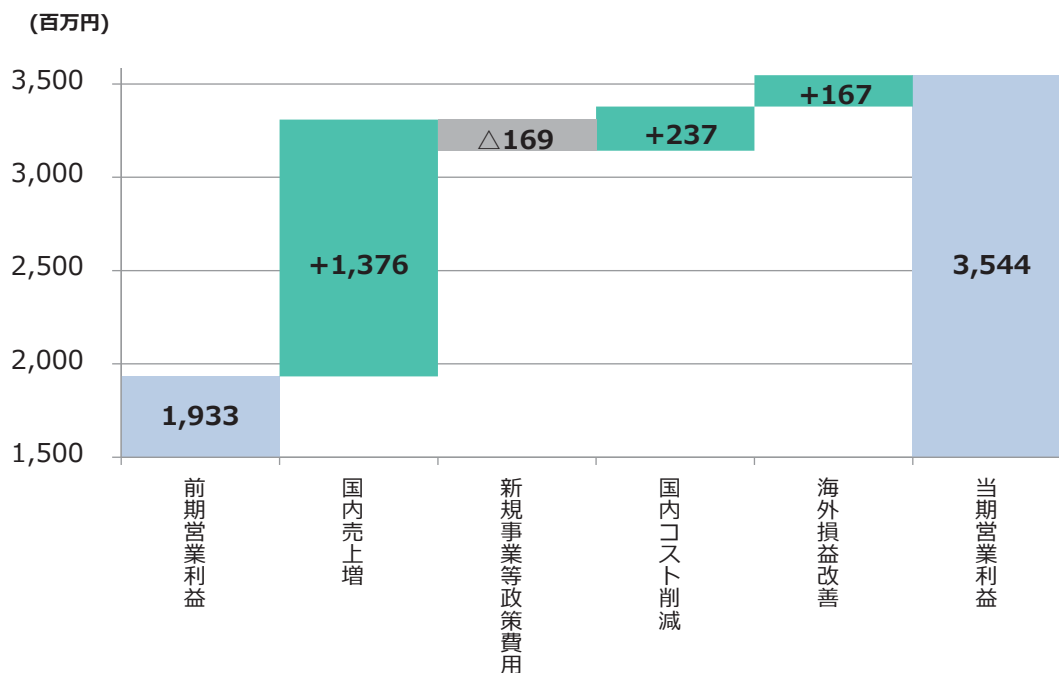
	国内	海外			連結調整	連結計
		中国	アセアン	計		
売上高	43,595 (+8.8%)	6,101 (+24.1%)	3,232 (+39.1%)	9,334 (+28.9%)	△223 (-)	52,706 (+11.4%)
営業利益	3,636 (+1,447)	△66 (+45)	△21 (+121)	△88 (+167)	△3 (△3)	3,544 (+1,611)

売上高 () 内は前年同期比増減率
営業利益 () 内は前年同期増減額

トピックス

連結業績の 増収・増益	売上高は同期間では過去最高。 営業利益、経常利益は、いずれも同期間では2007年 2月期以来11年ぶりの過去最高。 親会社株主に帰属する四半期純利益は計画を大きく上回る 推移。
プライズ部門が 既存比21.0%増	当社限定のオリジナル景品の展開と、YouTube、SNS での拡散効果により好調に推移。 モーリーファンタジー関連動画の累計再生回数は 5,300万回超。
新会員制度 「モーリーフレンズ」 会員110万人突破	従来の3つの会員制度を統合し、利便性やサービスを向上 させた新会員制度「モーリーフレンズ」の会員数が 11月現在、110万人を突破。

営業利益 要因別増減分析

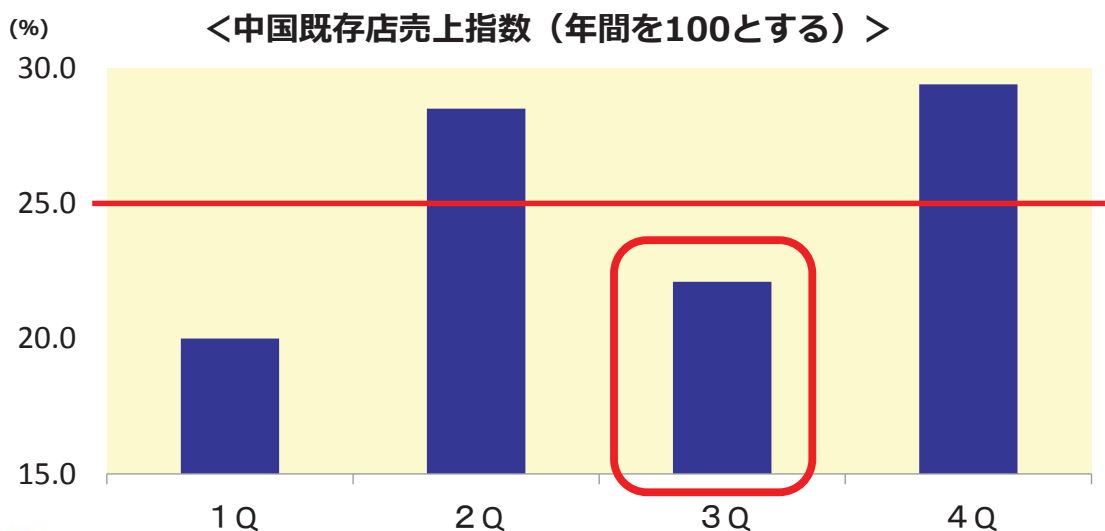


株式会社イオンファンタジー

10

中国事業の第3四半期

- 中国の第3四半期は売上指数が低い期間であるため構造上営業損失が発生するものの、通年では計画通りの着地となる見通し。
- 店舗数の拡大とともに第1四半期および第3四半期は損失が拡大し、第2四半期および第4四半期は利益が拡大する見込み。



株式会社イオンファンタジー

11

連結貸借対照表

2018年2月期第3四半期末（2017年11月30日現在）

（単位：百万円）

	2017/2期末		2017/11期末		期首に 対する 増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	11,259	26.0%	10,814	23.1%	△445
固定資産	32,069	74.0%	35,932	76.9%	+3,863
資産合計	43,328	100.0%	46,746	100.0%	+3,417
流動負債	11,000	25.4%	12,853	27.5%	+1,852
固定負債	6,707	15.5%	7,040	15.1%	+332
負債合計	17,708	40.9%	19,893	42.6%	+2,184
純資産合計	25,619	59.1%	26,852	57.4%	+1,232
負債純資産合計	43,328	100.0%	46,746	100.0%	+3,417

店舗数の状況（2017年11月末日現在）

	Mollyfantasy	kidzooona	その他	計
日本	422	6	42 (2)	470 (2)
中国	134 (4)	40	9	183 (4)
マレーシア	47	25	8	80
タイ	22	18	1	41
フィリピン	0	37	0	37
インドネシア	1	12	1	14
ベトナム ※	4 (1)	4 (1)	1 (1)	9 (3)
カンボジア	1 (1)	1 (1)	0	2 (2)
海外計	209 (6)	137 (2)	20 (1)	366 (9)
合計	631 (6)	143 (2)	62 (3)	836 (11)

※：ベトナムは イオンベトナムより6店舗のフランチャイズ契約店舗を譲り受け、直営化しております。
注：（ ）内数値は内数で、FC等（業務提携契約、業務委託契約、ライセンス契約を含む）の店舗数です。

2018年2月期第3四半期

連結累計期間

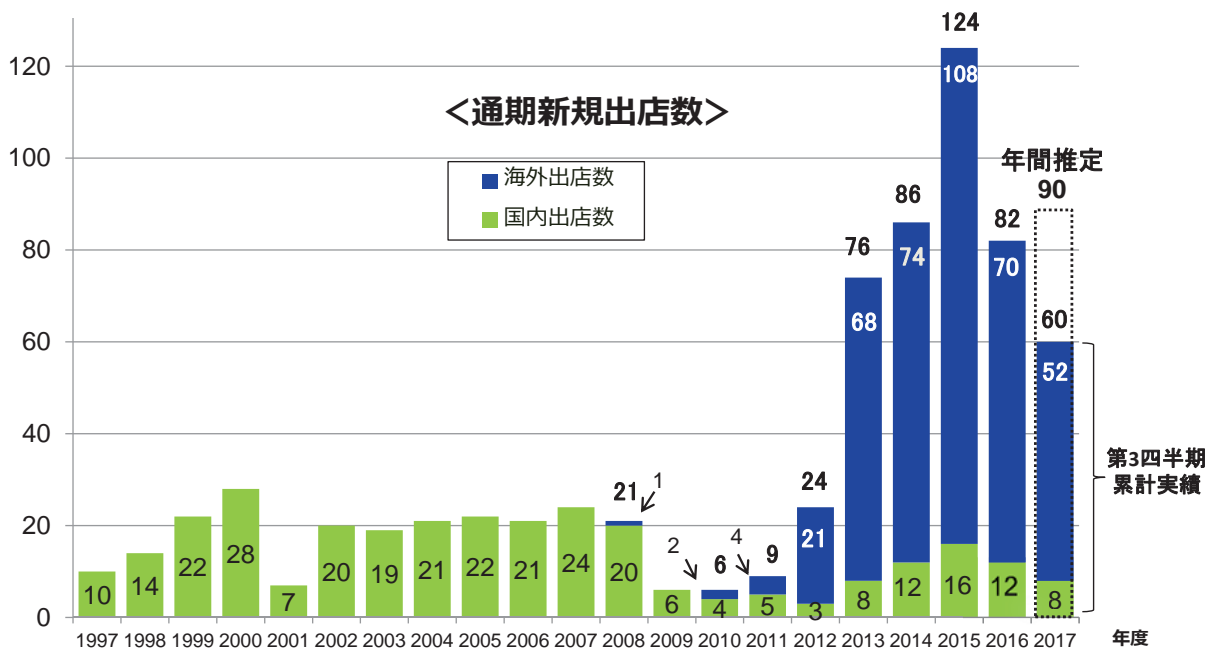
重点取組み概要



株式会社イオンファンタジー

新規出店

■ 第3四半期累計期間での新規出店は60店舗。



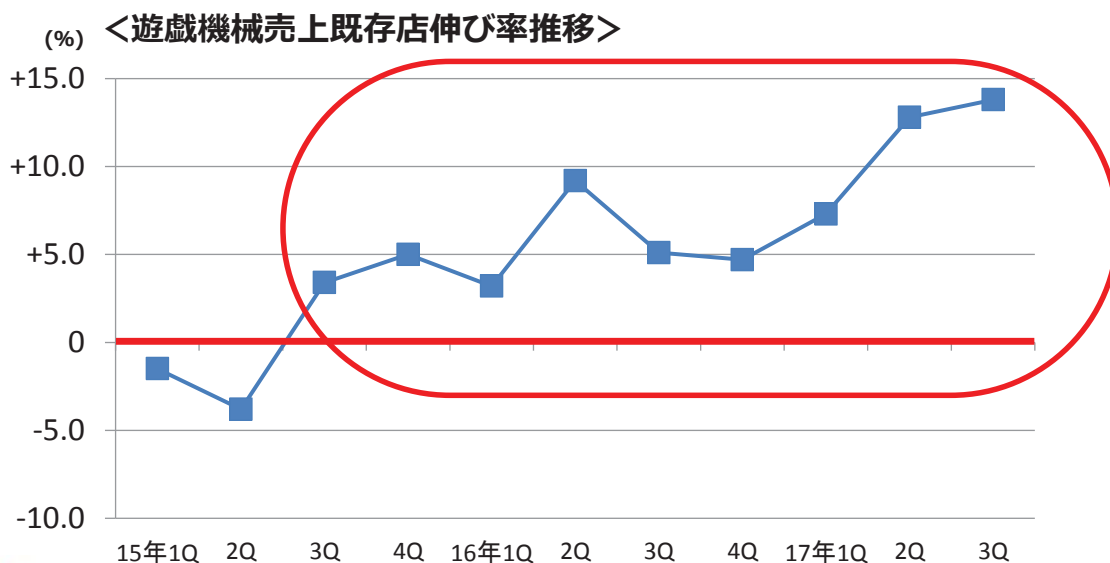
注：年度は翌年2月期を指す



株式会社イオンファンタジー

国内 遊戯機械売上の伸長

- 遊戯機械売上の既存店伸び率は2015年9月より27ヶ月連続でプラスとなり好調を維持。
- 当第3四半期会計期間の既存店伸び率は+13.8%



当社オリジナル景品の展開強化

- 他社とのコラボによる当社オリジナル景品の展開強化。

ミニストップとのコラボによる
『ソフトクリームスクイズ第2弾』



映画とのタイアップによる
『HIGH & LOWグッズ第3弾』

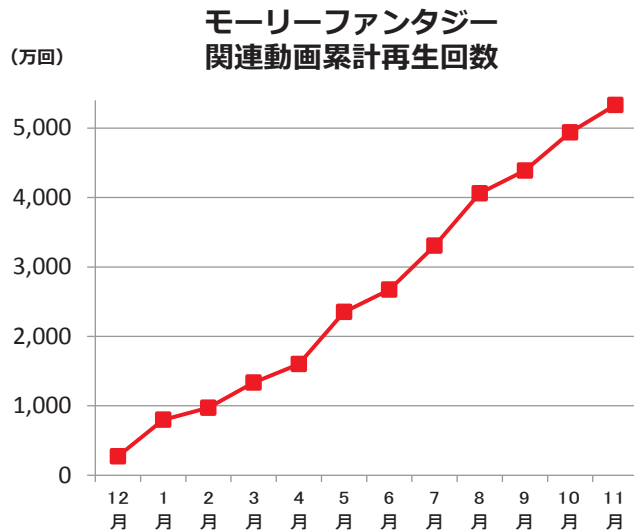


東ハトとのコラボによる
『ホラーウィンキャラメルコーン』



You Tube を活用した動画プロモーション

- 当社オリジナル景品紹介などモーリーファンタジー関連動画の累計再生回数 5,300万回超。(17年11月現在)



視聴回数200万回



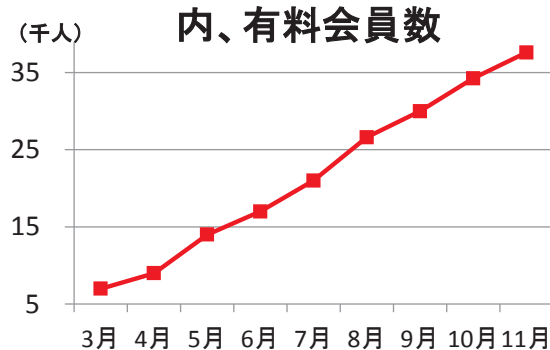
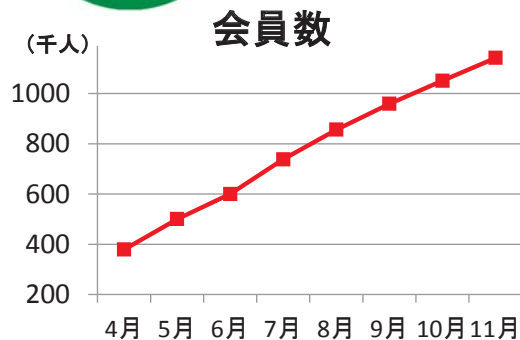
視聴回数110万回



株式会社イオンファンタジー

新会員制度「モーリーフレンズ」の会員数拡大

- 従来の3つの会員制度を統合し、利便性やサービスを向上させた新会員制度「モーリーフレンズ」の会員数が110万人を突破。(11月末現在)



株式会社イオンファンタジー

36店舗の活性化を実施

- 「モーリーファンタジー」の内装と品揃えを一新する大型の活性化を32店舗実施。
- 来店客層に合わせ、「モーリーファンタジー」から「PALO」への業態変更を4店舗実施。



活性化実施店舗の
昨年比

実施前 101.8%



実施後 116.0%

+14.2ポイントの
効果



株式会社イオンファンタジー

20

WAON POINTの活用

- 全店に設置した専用端末により、WAON POINTの来店ポイントサービスを実施。この利用者数は月間100万人超。




株式会社イオンファンタジー

21

当社オリジナルゲーム機の開発

- 既存の同等製品を購入する場合と比較して、大幅なコストダウンを実現。

『ウラのドキドキアタック』

機械単価 58%OFF



『パタパタボール』

機械単価 28%OFF



『ドラゴンキャッチャーM』



アミューズマシンメーカーが存在しないマレーシア国内で当社が初めて生産

機械単価 21%OFF



株式会社イオンファンタジー

22

当社オリジナルゲーム機拡大による他社との差別化

- 当社の店舗数を背景とした、他社では真似のできないオリジナルゲーム機の開発・導入による差別化を実現。

<オリジナル遊具 売上構成比>

	16年度実績	第3Q実績	17年度目標
国内	25%	31.5%	33%
海外	33%	35.7%	36%
合計	27%	32.2%	34%



株式会社イオンファンタジー

23

海外事業の業績

- 中国は既存店伸び率が好調、営業損失も改善し通年では計画通りの着地見通し。
- アセアンはマレーシアが好調を維持、タイも既存店伸び率が順調に回復。フィリピン、インドネシアは第3四半期累計期間では初めて営業利益の黒字化を達成。

<国別の業績>

(単位：百万円、%)

第3四半期 累計期間実績	中国		マレーシア		タイ		フィリピン		インドネシア	
	2017 2月期	2018 2月期	2017 2月期	2018 2月期	2017 2月期	2018 2月期	2017 2月期	2018 2月期	2017 2月期	2018 2月期
既存店 伸び率	+1.2	+7.5	+9.0	+10.1	△10.8	+18.1	△13.1	+4.1	—	△0.8
売上高	4,916	6,101	1,223	1,573	464	566	481	749	155	318
店舗利益	381	615	210	343	△93	△117	65	109	36	87
販管費	493	682	135	175	69	74	81	78	44	65
営業利益	△112	△66	74	167	△163	△191	△15	31	△7	21



株式会社イオンファンタジー

中国事業における出店拡大

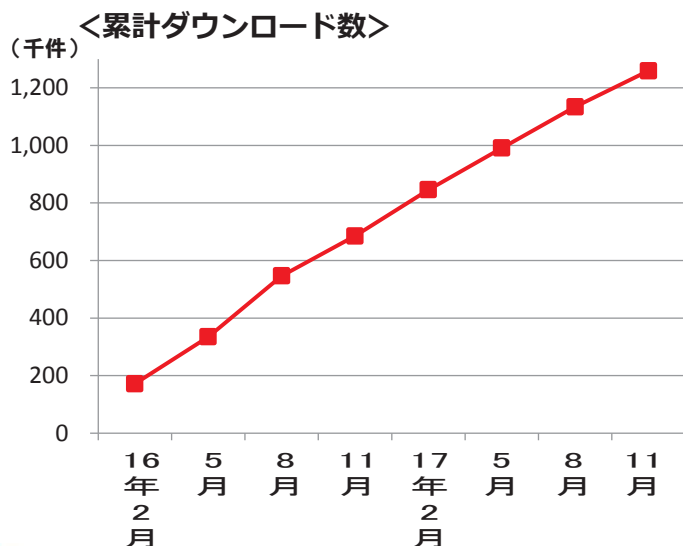
- 第3四半期累計期間に26店舗の新規出店。



株式会社イオンファンタジー

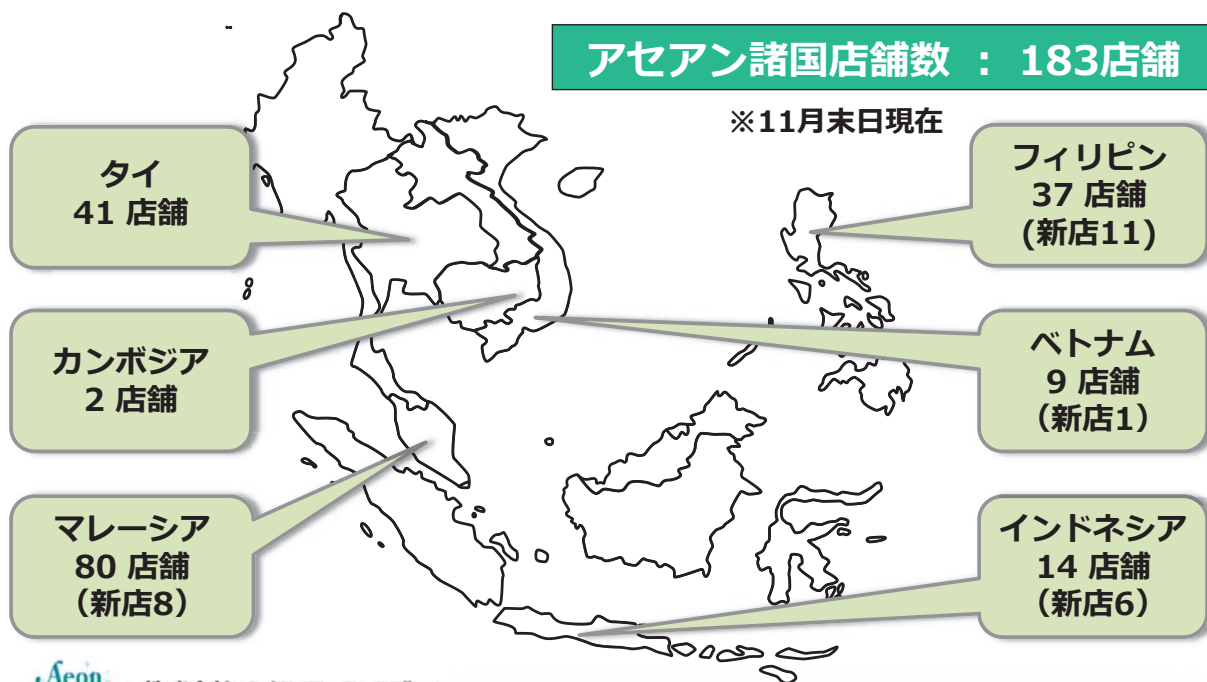
中国のアプリ会員数が順調に拡大

- アプリ会員システムの会員数は、11月末で125万人を突破。
- アプリ経由の売上高が全体売上の43%。



アセアン諸国における出店拡大

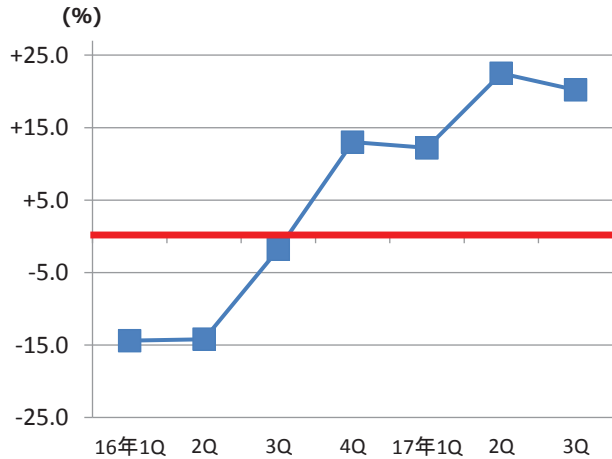
- 第3四半期累計期間に26店舗の新規出店。



タイの既存店改善

- 既存店の遊具改廃や店舗活性化により順調に改善、昨年10月より14ヶ月連続で既存店伸び率がプラス。
- 第3四半期より営業損失が前年から改善。

＜売上既存店伸び率推移＞



＜営業利益四半期推移＞

(単位：百万円)

	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q 推定	年間 推定
17年度	▲ 57	▲ 73	▲ 61	▲ 29	▲ 221
16年度	▲ 38	▲ 49	▲ 76	▲ 76	▲ 240
前年差	▲ 19	▲ 24	+15	+47	+19



株式会社イオンファンタジー

28

「FANPEKKA」の出店拡大

- インドネシアに「FANPEKKA」1号店をオープン。
- 合計4か国、12店舗に。



中国	9店舗
マレーシア	1店舗
タイ	1店舗
インドネシア	1店舗



株式会社イオンファンタジー

29

ベトナムの6店舗を直営化

■ベトナムにおいてFC店舗6店舗を譲り受け営業を開始。



Aeon
Fantasy

株式会社イオンファンタジー

30

2018年2月期 連結業績予想



Aeon
Fantasy

株式会社イオンファンタジー

31

2018年2月期の連結業績予想

(単位：百万円、%)

	2017/2期 実績	2018/2期 予想	前期比 (%)
売上高	65,058	70,000	+7.6
営業利益	3,769	5,000	+32.6
経常利益	3,498	4,550	+30.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,697	2,150	+26.6
1株当たり当期純利益	86.18円	109.10円	22.92円増
1株当たり配当金	31円	32円	+1円

※2017年9月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した通期の業績予想に変更はありません。



株式会社イオンファンタジー

32

セグメント別連結業績予想

(単位：百万円)

	国内	海外			連結 調整	連結計
		中国	アセアン	計		
売上高	57,100 (+4.6%)	9,000 (+25.4%)	4,400 (+32.3)	13,400 (+27.6%)	△500 (-)	70,000 (+7.6%)
営業 利益	4,710 (+1,023)	300 (+101)	0 (+115)	300 (+217)	△10 (△10)	5,000 (+1,230)

- 年間出店数 国内 8店舗 海外 82店舗
- 既存店売上 国内 105% 海外 105%

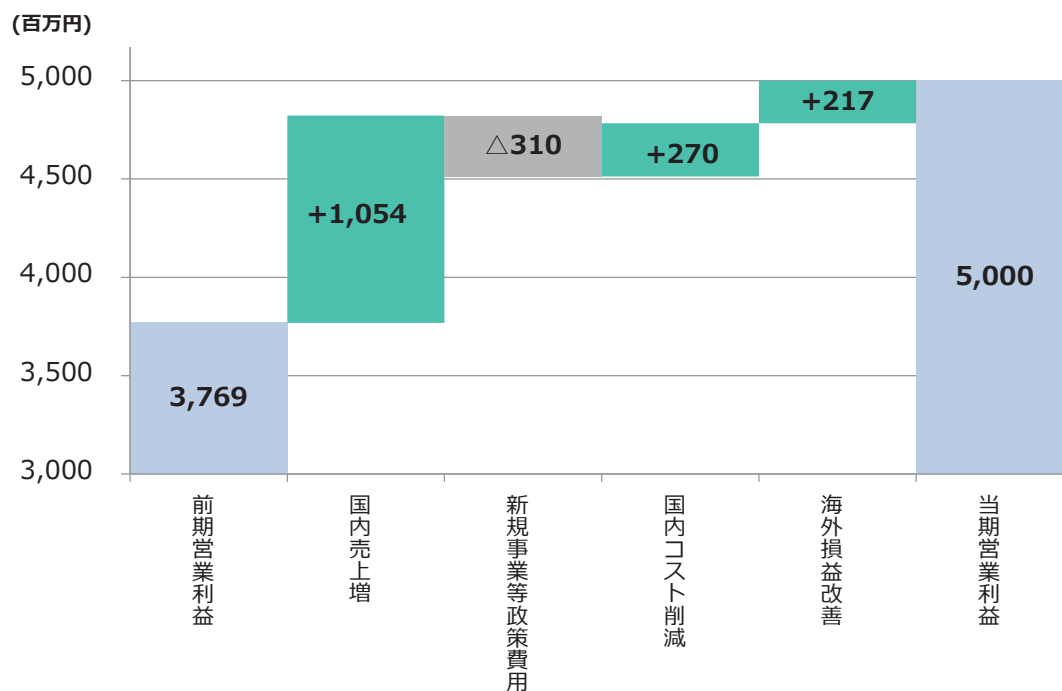
売上高 () 内は前年同期比増減率
営業利益 () 内は前年同期増減額



株式会社イオンファンタジー

33

営業利益増減要因



業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。



単体資料



株式会社イオンファンタジー

1

2018年2月期第3四半期累計期間の業績（単体）

参考資料

(単位：百万円)

	2017/2期 第3四半期 累計期間	2018/2期 第3四半期 累計期間	前期比 増減率
売上高	40,070	43,595	+8.8%
売上総利益	4,417	6,158	+39.4%
販管費	2,228	2,521	+13.1%
営業利益	2,189	3,636	+66.1%
営業外損益	△5	△134	—
経常利益	2,184	3,501	+60.3%
税引前四半期純利益	1,655	2,840	+71.6%
四半期純利益	774	1,613	+108.2%



株式会社イオンファンタジー

2

会計上の売上高詳細（単体）

参考資料

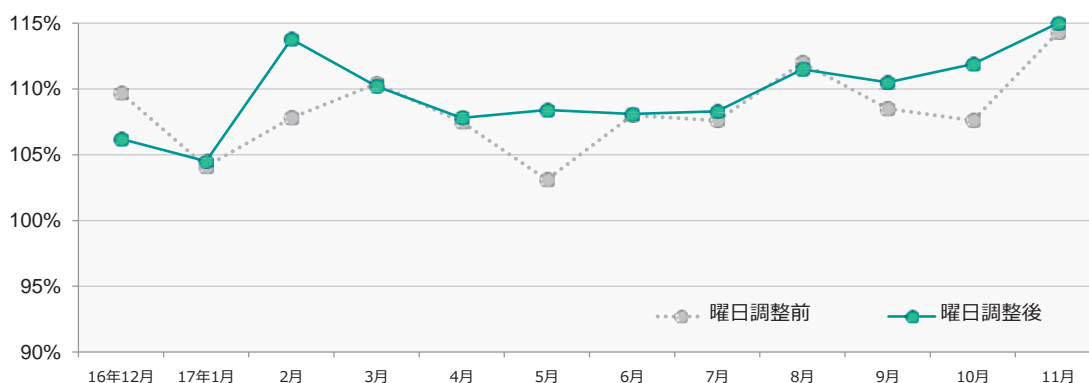
（単位：百万円）

	2018/2期 第3四半期		前期比	既存比
	実績	構成比		
遊戯機械	35,929	82.4%	110.6%	111.3%
商品（物販）	7,066	16.2%	96.7%	97.8%
委託	110	0.3%	100.0%	—
遊戯施設関係合計	43,106	98.9%	108.0%	108.9%
その他	488	1.1%	293.9%	—
売上高合計	43,595	100.0%	108.8%	108.9%

既存店売上高前年比の月次推移（単体）

参考資料

FY2016 4Q~ FY2017.1Q	2016/12月	2017/1月	2月	3月	4月	5月
曜日調整前	109.7%	104.1%	107.8%	110.4%	107.5%	103.1%
曜日調整後	106.2%	104.5%	113.8%	110.2%	107.8%	108.4%
FY2017 2Q~3Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月
曜日調整前	108.0%	107.6%	112.0%	108.5%	107.6%	114.3%
曜日調整後	108.1%	108.3%	111.5%	110.5%	111.9%	115.0%



部門別売上動向（単体）

参考資料

（単位：％）

	2017年2月期 第4四半期		2018年2月期 第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比
時間制遊具	4.1	93.8	4.2	95.1	4.4	98.8	4.3	101.2
体感	8.0	93.4	8.3	95.2	7.4	93.6	7.2	92.6
カード	16.4	107.6	15.4	102.8	13.5	93.1	15.6	94.5
メダル	25.2	105.2	24.9	106.9	25.8	107.5	24.2	109.9
プライズ	41.9	109.0	42.3	113.2	45.2	124.7	45.2	124.9
シール	2.7	86.9	3.4	86.7	2.5	81.7	2.2	79.5
カプセル玩具	1.3	120.7	1.2	120.8	0.9	108.4	0.9	106.6
遊戯施設売上計	100.0	105.5	100.0	106.7	100.0	109.6	100.0	110.1

四半期毎の収益の推移（単体）

参考資料

（単位：百万円、％）

	2017年2月期 第4四半期	増減率 （％）	2018年2月期 第1四半期	増減率 （％）	第2四半期	増減率 （％）	第3四半期	増減率 （％）
売上高	14,505	+4.0	13,759	+6.8	15,949	+9.0	13,886	+10.6
売上原価	12,168	+2.9	12,136	+4.4	13,393	+6.0	11,906	+4.4
売上総利益	2,336	+10.1	1,622	+28.5	2,555	+27.5	1,979	+72.0
販管費	838	+24.1	856	+12.1	853	+15.5	811	+11.9
営業利益	1,498	+3.6	766	+53.6	1,702	+34.6	1,167	+174.6
営業外損益	△59	-	△23	-	△118	-	7	-
経常利益	1,438	△13.9	742	+53.8	1,584	+24.9	1,174	+171.5
特別損益	△560	+128.1	△392	△14.5	221	-	△490	-
税引前利益	878	△38.3	350	-	1,805	+43.5	684	+83.2
法人税等	536	+6.3	280	+25.5	544	+18.9	402	+101.6
四半期純利益	341	△62.8	70	-	1,260	+57.6	282	+62.1

貸借対照表（単体）

参考資料

（単位：百万円）

	2017/2期末		2018/2期 第3四半期末		期首に 対する 増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	7,885	23.9%	7,199	20.1%	△685
固定資産	25,126	76.1%	28,557	79.9%	+3,431
資産合計	33,011	100.0%	35,757	100.0%	+2,745
流動負債	6,835	20.7%	8,559	23.9%	+1,723
固定負債	399	1.2%	409	1.1%	+9
負債合計	7,234	21.9%	8,968	25.1%	+1,733
純資産合計	25,776	78.1%	26,788	74.9%	+1,012
負債純資産合計	33,011	100.0%	35,757	100.0%	+2,745